



「ふるさと研究ニュース」は、市民のみなさんに、所沢のことを知っていただける機会や情報を届けずる情報紙です。所沢をもっと知りたい方、ぜひご活用ください。

◆写真で見るところざわの移り変わり◆



所沢市ホームページ

平成 14 年から平成 16 年にかけて、市内の公民館等で懐かしい風景の写真展を開催しました。現在ホームページで、その際使用した写真を掲載しています。懐かしんだり、初めて見るふるさとの風景の移り変わりをお楽しみください。

第13回★ところざわ星空フェスティバル

所沢市の教育活動における自然科学分野の事業として、子どもから高齢者まで幅広い世代の市民を対象に、星空や宇宙、ふるさと所沢の歴史などを身近に感じるための学習の場として、開催しています。

ご家族やご友人と、夏の午後のひとときを星づくしで楽しんでみませんか。

日時: 8 月 22 日(土)午後 2 時～午後 8 時 30 分まで

会場: 生涯学習推進センター → 詳細は、「翔びたつひろば 8 月号」をご覧ください。

協力: 株式会社 ビクセン

後援: 自然科学研究機構 国立天文台

詳しくは
この二次元コード
から！



主なイベント【入場無料】

★は午後 2 時～午後 6 時終了、☆は午後 7 時～午後 8 時 30 分終了

☆星空観望会 ☆お月見望遠鏡体験
(雨天・曇天の場合は内容が変更になります。)

★天体望遠鏡教室

★高校生サイエンス広場

★星空モルック体験

★星空の絵画展 ★星空教室

★星の本のおはなし会と工作会

★昔のくらし体験

★ビクセン工作教室¥ ★星型キーホルダー作り¥ ★星空カフェ¥ (¥のみ一部有料)

※当日、午後 5 時 30 分まではグラウンドを駐車場として開放します。午後 5 時 30 分以降は観望会準備のため、必ず観望会(午後 7 時～)までにグラウンドから出庫していただき、センター内の通常の駐車スペースをご利用ください。駐車台数が限られますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

資料調査の現場から

＜ふるさと研究市民トピック No. 38＞

青梅市^{しもやま}の下山八幡神社に右のような掛軸が残されています。「六所大明神」と大書され、宮司によれば所沢の北野天神社からいただいたものとのことです。「源朝臣茂景拝書」との署名から北野天神社文書を確認したところ、この人物は幕末から明治初年にかけての所沢の北野天神社の神主・栗原茂景とわかりました。

なぜ所沢の神主の書が青梅の神社に残されているのでしょうか。

北野天神社は、その歴史を景行天皇40(110※)年にまで遡るとされ、地域でも随一の由緒をもちます。天正18(1590)年には「武州神職司」として所沢市、青梅市、羽村市など周辺40社家の神職集団を形成し、近世には幕府より50石を与えられ、歴代将軍の朱印状が伝わるほか、将軍家との特別な縁故がありました。

平安時代の創立を伝える下山八幡神社は、近世には朱印地5石を与えられました。正保3(1646)年に神祇管領長上吉田家より榊田吉正・吉影親子が下山村氷川六所大明神と下山八幡の祠官の許状を受け、地元では「六所」と呼ばれてきました。

北野天神社文書によれば、元禄16(1703)年には栗原氏支配下の神主として榊田氏を含む「山分七社」の名が確認できます。また将軍家光42歳の時に北野天神社が「千座の祓箱」を差し上げた際には榊田氏も同道し自分のお札を差し上げました。

さらに、神主改めの史料(年未詳)には、北野天神社宮司栗原主殿の四男に「下山八幡 榊田要人」と記され、両家はこの時点で縁続きであったことがわかります。榊田氏の家系図によれば元文2(1737)年に家督を継いだ要人正春が栗原氏からの養子であったとのこと。次の代も要人を名乗りました。さらに安政3(1856)年には掛軸の署名にあった栗原茂景の次男・茂輝が婿入りしています。

要人は宝暦5(1755)年には下山八幡神社本殿を再建、「北野天満宮御権役」として周辺神職の支配を任されていました。

文政2(1819)年の栗原左衛門死去に際しては親類として寺社奉行所への届け出や、跡継ぎ決定までの職務代行を務めました。慶応4(1868)年の戊辰戦争では官軍の

下向にあたり陣中安全の被札献上のため栗原氏支配 27 か所の惣代として榊田氏が遣わされ金一封を下賜されました。

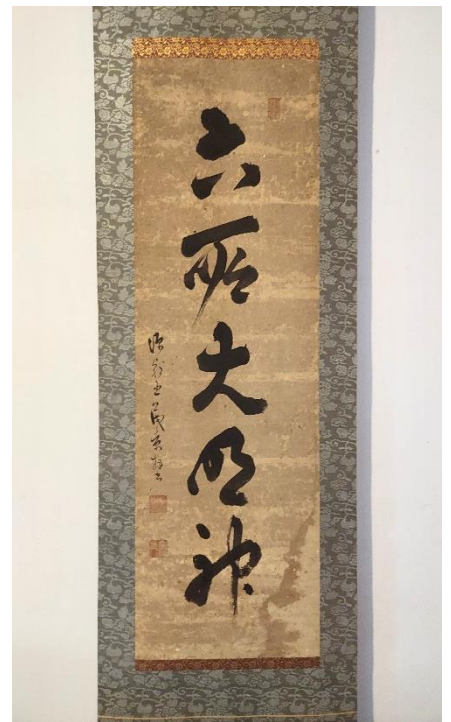
以上のように、栗原氏と榊田氏とは近世以来の血縁関係であり、榊田氏は「権役」として栗原氏の神職支配の一端を担っていました。また、その跡目相続に際しては寺社奉行所への届け出や職務代行を行ったほか、支配神主の惣代も務めるという非常に密接な関係であったことが今回の調査でわかりました。掛軸は、このような関係性の中で明治の早いうちにもたらされたものと思われます。

北野天神社文書には早くは1660年代に青梅地方の人々とのかかわりを示す史料が残されています。こうした地域的なつながりのなかで両家の絆も培われてきたのではないのでしょうか。

※年代の比定については諸説あります。

*下山八幡神社の掛軸を含む史料はすべて非公開

〈参考資料〉北野天神社文書(北野天神社所有 埼玉県文書館に寄託)
『青梅市の社寺建築』(昭和63年 青梅市教育委員会)
『所沢市史 社寺』(昭和59年 所沢市教育委員会)



所沢市文化財保存活用地域計画が認定されました

文化財保護法に基づき作成した「所沢市文化財保存活用地域計画」が、文化庁長官の認定を受けました。

本計画は、多くの人々が「ふるさと所沢」の歴史文化に興味・関心を抱き、地域総がかりで後世に継承していくことを目指すものです。

【将来像】知って親しみ、未来へつなぐ「ふるさと所沢」の歴史文化

※詳細については所沢市ホームページをご参照ください

